

平成27年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成27年9月4日(金) 広島合同庁舎4号館 会議室
委員	森嶋 久雄(委員長/不動産鑑定士) 藤井 堅(大学院教授) 伊藤 博文(税理士) 爲末 和政(弁護士) 谷村 吉弘(客員研究員)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成27年3月1日 ~ 平成27年6月30日		
審議対象件数	39件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	11件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等  「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		2件
	一般競争(政府調達協定対象外)		4件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	5件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出案件】 ○建設工事(政府調達協定対象) 【一般競争入札】 《岩国飛行場(H26)医療施設新設工事》  ・規模の大きい工事にかかわらず、1者応札となった理由は何か。  ・落札率が99.99%と高落札率となっており、競争原理が作用しない結果となっている理由は何か。  ・	・現在岩国基地では数多くの工事を行っているところであるが、全国的にも技術者が不足している中で、品質を確保しながら工事を完成させる事ができる者が極めて少なかったためではないかと思料する。  ・入札については原則2回としているところであるが、2回目の入札金額と予定価格との差が少額であった事から3回目の入札を行ったところである。 落札率が99.99%となったのは、2回目の入札では利益を切り詰めて入札したものであると思われるが、ギリギリであったため3回目の入札においては少額しか減額されなかったためと思料する。 また、今回は高落札率ではあるが、電子入札であり、入札参加者には他の入札者の情報が示されな	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・入札回数が多くなることは、落札者の利益誘導につながるのではないか。</p> <p>・再度の入札の執行はすぐに行うのか。</p> <p>・2回目の入札では1億円減額しているが、3回目の入札では百万円しか落としていないという事に違和感を感じる。 今回、3回目の入札を行う際に、予定価格との差が少額であるという事を相手方に伝えたのか。</p> <p>・2回目の入札で1億円減額しているが、どのような説明をしたら1億円もさがるのか。</p> <p><b>【一般競争入札】</b> 《岩国飛行場（H26）庁舎新設建築その他工事》</p> <p>（関連事案） 《岩国飛行場（H26）庁舎新設機械工事》 《岩国飛行場（H26）ターミナル地区駐機場等整備舗装工事》 《美保（26）駐機場新設等土木その他工事》 《岩国飛行場（26）藻場・干潟回復工事》 《出雲（26）庁舎新設等建築その他工事》 《岩国飛行場（H26）北地区給水施設新設土木その他工事》</p> <p>・1者辞退により実質5者応札の結果、落札率が90.55%となったことは市場原理が機能したと考えても良いか。 又、その他の6件も落札率90%前後であり、競争原理が作用したと考えて良いのか、或いはこのような結果が通常の状</p>	<p>い事から、競争原理は働くものと理解している。</p> <p>・入札回数は原則2回という事になっているが、今回は2回目の入札が予定価格との差が少額だったことから、入札不調を避けるため、3回目の入札を行ったものである。 仮に2回目の入札で予定価格との価格差が大きければ3回目の入札を行わず入札不調とするものであり、利益誘導のために入札回数を増やしているものではない。</p> <p>・一般的には金額の差が少なければ直ぐに執行する事もあるが、差が大きければ補足説明を行い、積算する時間が必要と見込まれる場合は日にちをあける事もある。</p> <p>・次の入札の日程だけを伝えている。</p> <p>・一般的には諸経費の考え方が違う事が多いので、局の諸経費の積算の考え方を示す事が多い。</p> <p>・防衛省の取り組みとして、不調対策のため、入札参加者に求める実績の緩和等を行っているところであり、その成果もあって入札参加者が比較的多くなっていると思われる。 工種や工事の内容により条件が変わってくるので、入札参加者の</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>態なのか。</p> <p>・実績を緩和すると粗悪なものができるという事につながるのではないか。</p> <p>・技術者の経験を緩和し競争を確保するという事自体は賛成だが、緩和する代わりに、何かで品質を担保することも必要である。          施工経験がない技術者でも物件自体は完成するが、問題は何年持つかである。完成時見た目は同じでも10年～20年で急に悪くなり、結果的に寿命が短くなる事もある。</p> <p>○建設工事（政府調達協定対象外）  <b>【一般競争入札】</b>          《善通寺（26補）隊舎改修建築その他工事》</p> <p>（関連事案）          《岩国飛行場（H26）遊水池整備工事》          《広（26補）堆積物撤去工事》</p> <p>・入札参加者が10者と多いが落札率が高めとなっている。          工事内容に違いはあるが、岩国飛行場（H26）遊水池整備工事と広（26補）堆積物撤去工事も入札参加者が8者から14者と多く、落札率は低い。この落札率の違いは工事の難易度によるのか、利益率によるのか、地域性によるのか。</p>	<p>数、落札率のみでは市場原理が機能したかについて一概には言えないところもあるが、今回入札参加業者数も多く落札率も90.55%であったことから、全国的に多くの入札不調・不成立が発生している中、一定の競争原理が働いたものと考えている。</p> <p>また、その他の6件の工事についても、このような取り組みを行った結果、通常の状態とは必ずしも言えないが入札参加業者も比較的多く、競争が確保できたのではないかと思料する。</p> <p>・競争を確保する一方、品質の確保も懸念される。そのため、所要の工事品質を確保する観点から、一律に緩和するのではなく、工事の種類に応じて緩和を行っている。</p> <p>・工事の完成後には施工成績という形で点数を付けを行っているので、緩和による品質への影響がないかについても慎重に見ていきたい。</p> <p>・善通寺（26補）隊舎改修建築その他工事については、見積活用方式を採用しており、直接工事費すべての見積りを取り、平均単価を採用しているので落札率が高めになったものと思料する。          また、一般的に掘削作業が主体の土木工事は単純な作業で利益も上げやすく入札参加者が多くなる傾向にあるため、競争力が働いて落札率が低くなったものと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】 《岩国（26）庁舎改修建築その他工事》</p> <p>・1者応札で落札率が高いのはなぜか。</p> <p>【一般競争入札】 《小月（26）燃料施設整備等機械その他工事》</p> <p>・1者応札で落札率が高いのはなぜか。</p> <p>【一般競争入札】 《海田市（25）庁舎改修建築追加工事》</p> <p>・1者応札で落札率が高いのはなぜか。</p> <p>○建設コンサルタント等業務 【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）医療施設工事監理業務》</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）下士官宿舎等建築工事監理業務》</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）庁舎等設備工事監理業務》</p>	<p>・改修工事は入札に参加する業者が少ない傾向にあるうえ、岩国には他にも数多くの工事を発注している事から、更に入札参加業者が少なくなり、今回1者応札となったものと思料する。 また、本件は見積活用方式を採用しており、直接工事費のすべてで見積りを採用しているため、落札率が高くなったと思料する。</p> <p>・本施設は航空機の燃料を扱う危険物取扱施設である事、また、金額も大きくない事から魅力がなく、入札に参加する業者が少なくなったのではないかと思料する。 落札率については、特殊な機器を採用しており、一般的なものではないため、ほとんど値引きがされず、高落札率につながったものと思料する。</p> <p>・追加工事のため、新規で参入する場合、新規の工事に比べると金額が割に合わず、前工事を行った業者のみの参加になったものと思料する。 落札率については、落札業者は前工事を実施しているため、後工事の内容を熟知しているなか、公開されている積算基準等により当局の積算額を類推された結果、高落札率となったのではないかと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・いずれも共同体が落札した入札参加者が1～2者の監理業務であるが、落札率が高い。また、共同体が入札に参加する業務は高落札率となる傾向にあるのか。</p> <p>・監理業務で共同体というのは今まであまり見なかったがなぜか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）燃料タンク等土木工事監理業務》</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）幹線排水路等土木工事監理業務》</p> <p>・入札参加者が6者で、同一の業者が落札しているが、どちらも落札率が低いがなぜか。</p> <p>・同一業者が落札するという事については問題ないのか。</p> <p>・2件ともA社が辞退しているようだが理由は確認しているか。</p>	<p>・医療施設については5名、下士官宿舎等については3名、庁舎等については6名の技術者を配置しなければならず、全国的に技術者が不足している中、入札参加できる者は少ない状況である。</p> <p>高落札率については、共同体だからという事ではなく、建築・設備の施工監理は建築士法が適用され、工事内容を良く熟知している、それなりの経験を持っている人間でないといけない。</p> <p>全国的に技術者が不足している中、このような人材を集める必要があるため、落札率も高くなってきているのではないかと思料する。</p> <p>・これだけの技術者を1者で準備するのは難しくなっているのではないか。</p> <p>・どちらの業務も入札参加者に求める実績等が同じ条件であり、かつ、同じ岩国で行う業務である事から、同じ業者が応募してきたものと思われる。</p> <p>落札率については、土木関係の技術者は十分確保されているという事や、土木工事監理業務については、建築・設備に比べれば比較的難易度が低いという点から、参加条件はかなり良いので、競争力が働いて落札率が低くなったものと思料する。</p> <p>・技術者等の人員を確保しているのであれば、同じ業者が落札する事も可能である。</p> <p>・辞退理由は確認していないが、同一時期に行った他の入札を先に落札し、技術者が配置できなくなった事などが考えられる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>【報告事項】</b></p> <p>○低入札事案について（2件）</p> <p>○不調事案について（0件）</p> <p>○指名停止等の措置状況について（4件）</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p>
<p>○委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0 件	(審議概要) なし
工 事	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
業 務	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
		意見・質問	回 答
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等		なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審議概要	なし	
	意見・質問	回 答
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等		意 見 ・ 質 問		回 答	
		なし		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			



Ⅱ 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：中国四国防衛局

審議対象期間	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日	
審議対象件数	499件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	7件	(審議概要)
一般競争	7件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【競争契約】（1者応札） 《小月飛行場における住宅防音事業に係る事務手続き補助等業務》 中国四国防衛局 落札率：90.89%</p> <p>《徳島飛行場における住宅防音事業に係る事務手続き補助等業務》 中国四国防衛局 落札率：97.78%</p> <p>《美保飛行場における住宅防音事業に係る事務手続き補助等業務》 中国四国防衛局 落札率：99.50%</p> <p>・なぜ、1者応札となったのか。</p> <p>・1者応札で落札率が高いのは、何か理由があるのか。</p>	<p>・住宅防音業務に係る事務手続き補助等業務について、各飛行場に関係する行政書士会、商工会議所等に対しメール、FAX及び電話により業務の周知を行っているが、3事案とも発注数量が少なく契約金額が低いことが影響しているものと思われる。</p> <p>・住宅防音事業業務委託積算指針をホームページで公開しており、予定価格がある程度推測できること、また、競争相手がいないことも影響し、高落札率となっていると思われる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>・定期的なサイクル業務なのか。</p> <p><b>【競争契約】</b> 《防府飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その1)》 中国四国防衛局 落札率：53.20% 応札者数：3者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その1)》 中国四国防衛局 落札率：26.95% 応札者数：3者</p> <p><b>【関連事業】</b> 《防府飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その2)》 中国四国防衛局 落札率：48.35% 応札者数：4者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その2)》 中国四国防衛局 落札率：27.58% 応札者数：3者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その3)》 中国四国防衛局 落札率：26.46% 応札者数：3者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その4)》 中国四国防衛局 落札率：25.60% 応札者数：3者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その5)》 中国四国防衛局 落札率：24.73% 応札者数：3者</p>	<p>・毎年度当初、予算に応じて1回発注する定期的な業務である。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その6)》 中国四国防衛局 落札率：23.77% 応札者数：3者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その7)》 中国四国防衛局 落札率：21.67% 応札者数：3者</p> <p>《岩国飛行場における住宅防音事業に係る事務手続補助業務(その8)》 中国四国防衛局 落札率：19.20% 応札者数：3者</p> <p>・岩国についてすべて3者応札となっているのはなぜなのか。</p> <p>・これらの業務も定期的なサイクル業務なのか。</p> <p>・近年の実績はどうなっているか。</p> <p>・落札業者が3業者に固定されているのはなぜか。</p> <p>・入札率がかなり低いが、業務の成果に問題は出てないのか。</p> <p>・現在は非常に入札率が低い状況であり、なぜこのようになるのかはよく分からないが、今後も本件については継続して見守っていきたい。</p>	<p>・前年度の低価格競争結果が影響し、当該3者だけが入札に参加したと思われる。 また、公告や入札を同一日程により実施したことから、応募者も同じ組合せとなったと思われる。</p> <p>・毎年度、予算に応じて1～2回発注する定期的な業務である。</p> <p>・本業務は24年度から実施しており、当初は予定価格超過により複数回入札を行うようなこともあったが、発注を重ねる毎に落札率が下がっており、競争原理が働いているものと思われる。</p> <p>・事務手続補助業務について周知を行っているが、新規参入がなく、競争相手がいないことが影響していると思われる。</p> <p>・問題ない。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>《返還物品及び施設発生物品の売払い（岩国飛行場(H24)消防施設(D)新設土木工事外42件)》 中国四国防衛局 落札率：129.04% 応札者数：12者</p> <p>《返還物品の売払い（岩国飛行場(H25)低層住宅給排水土木工事ほか15件)》 中国四国防衛局 落札率：249.21% 応札者数：11者</p> <p>・落札率が予定価格よりも高くなっているのはなぜか。</p> <p>・鉄屑等の売払いは、市場性が反映されるのか。</p> <p>・予定価格は、鉄屑等の種類にその単価を乗じて積算しているのか。</p> <p>・鉄屑等は売払う時期は決まっているのか。</p> <p>・現場説明は行っているのか。</p> <p>・現場説明と入札は、同じ日に行なっているのか。</p> <p>・全体の数量と予定価格の関係が逆転しているのはなぜか。</p>	<p>・これらの契約は、建設工事で発生した鉄屑等の売払いであるため、国の予定価格を上回るもののうち、最高価格で入札した者を落札者としているためである。</p> <p>・鉄屑等は発生物品であるため、供給量が安定せず、需給バランスによって短期間で価格が大きく変動する。</p> <p>・鉄屑等の種類にそれぞれの単価を乗じて算出した価格から、運搬費などの引取り経費を減じて積算している。</p> <p>・時期は決まっていない。工事現場である程度、鉄屑等がたまり、売り払える数量等を見極めるなどして売り払っている。</p> <p>・現場説明を行い、実際に鉄屑等を見てもらってから入札している。</p> <p>・同じ日に行なっている。</p> <p>・発生材は、種類によって単価が大きく異なり、鉄屑よりも銅屑が高価であるため、銅屑の割合が多くなれば全体の数量が少なくても予定価格が高くなることもある。</p>
<p>○委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし。</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし。
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	なし。	なし。
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考) なし。	
一般競争		0 件		
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答		
	なし。	なし。		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。			